

山岳ぐんま



一般社団法人 群馬県山岳・スポーツライミング連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0031 前橋市下小出町 2-46-1 (小池寛喜方) tel 027-235-9247 E-mail : info@gunmaken-sangakurenmei.net



top News

谷川岳山開き

7月第1日曜日は毎年恒例の「谷川岳山開き」。今年
は7月7日に行われた。未明から上野発の夜行列
車で訪れた登山者、ハイカー、観光客らが続々と土合駅
からかがり火に照らされたロープウェイ駅までの道を歩
き出す。半世紀も前の土合駅をふと思い出させる光景。
インフォメーションセンター前の駐車場も押し寄せる車
で暗いうちからほぼ満車状態に。昨年以上の人出を感じ
させるにぎわいだった。

かがり火は岳連ほか群馬労山、日本山岳会群馬支部の

会員たちが深夜からスタンバイして用意した。

三国太鼓(写真)で始まった早朝4時からの山開きには岳連の吉田直人会長、谷川岳資料館長の八木原罔明顧問他、山岳関係者、県知事(代理)はじめ行政・交通・警察・消防など谷川岳に関係する関係団体の代表者が列席。祝詞や玉串奉奠などの神事の後には参列者一同が土合霊園地に設けられた茅の輪をくぐって安全登山を祈念した。

8月11日の山の日には、やはり恒例となった「山の日イベント in 谷川岳」も開催される。



『勦力協心で前へ』

令和6年度通常総会は令和6年6月1日前橋総合福祉会館で開催されすべての議案が原案どおり承認されました。

この1年を振り返ると岳連として活動に大きな変化はなく過去を踏襲したかたちとなりました、一方運営面では法人化に伴い会計処理や理事会の在り方、文書管理、税など慣れないことも多く担当する方々は苦勞したと思います。今年度も理事を始め岳連会員や参加員のみならずさと力を合わせ着実に前へ進めてまいります。

地域や職場の山岳会が衰退し消えていく現状を見るにつけ上部団体であるわれわれ岳連も世の中の変化に対応していく必要があることは言うまでもありません。33年前の1991(平成3)年当時加盟団体数は34団体とこの年に発刊された群馬岳連50周年誌に記されています。本年総会時は24団体です。

若者は集団での行動を敬遠し少人数や個で動く傾向にあり登山もその流れが顕著で1～2人用の小さいテントが主流になっているのはそのことが反映されているからです。これからはその様な人を取り込むアクティビティ

つまり個人会員を増やす活動が必須となります。

個人会員になってもらうには入会するメリットを訴えていく必要があります。既存の岳連会員も含めアドバンテージを出せるような行事や講習会はもとより以前にもお話ししましたが山小屋や登山用品店の優待制度の導入、また群馬岳連の強みとしてヒマラヤ登山経験者が多く存在します。講演会の開催などみんなで知恵をだし仲間を増やしましょう。このままでは加盟団体が減り続けるだけでそのうち群馬岳連が限界集落化してしまいます。

現在群馬岳連では7つの専門部が組織され委員長を中心にそれぞれ目的をもって計画を企て実行しております。残念ながら活動できていない専門部もあります。今年度は各委員長がその委員会の将来を見据えしっかりしたビジョンを描きリーダーシップを執ってほしいと思います。場合によっては他の岳連や日本山岳会群馬支部、群馬登山などと委員会同士の交流もあって良いと考えます。似たような問題をかかえているはずで、問題点を共有し課題をつぶしていくことがひいては群馬の山岳界の活性化につながります。



昨年の山の日イベント出発式。吉田会長（写真右）

また、法人化に移行したことにより委員長は会社という役員（経営者）の1人です。会社と違い利益を追求する団体ではありませんが団体を維持、継続させていくには収入を増やし支出を抑えることは会社と同じです。このことを常に考え行動してもらいたいと思います。活動するには当然お金がかかりますが、できるだけ補助金や参加費で賄えるようにして岳連からの支出を極力減らさようお願いします。

おわりに年頭の挨拶でも触れましたが5年後の2029(令和11)年国民スポーツ大会(旧国体)が本県で開催されます。愛称も「湯けむり国スポ・全スポぐんま」に決まり、すでに県の準備室も大会に向け動きだしてお

ります。アーバンスポーツとしてスポーツライミングは若者の人気を博し、湯けむり国スポでも注目を浴びることは間違いのないでしょう。これからますます競技委員会のみなさんには負担が掛り忙しくなってきます。現状のスタッフではまったく足りません。これから多くの岳連会員に協力をお願いすることになると思いますのでよろしくお願いたします。来年の「滋賀国スポ」における関東ブロック大会(関東予選)は群馬が会場となります。こちらもぜひご支援ください。

今年度も群馬県山岳・SC連盟はワンチームとなり力を発揮していきましょう。



株式会社エーアールアイ
東京都練馬区上石神井 3-18-1
TEL 03-5991-4638

ダウラギリ I 峰 南東稜の慰霊の旅 — 3

群馬県山岳・スポーツクライミング連盟顧問 八木原 啓明



東ダウラギリ氷河

5 日目、いよいよ南東稜下のベースキャンプへ向かう。運動らしいことをしていない怠け者には辛い。遅れまいと歩くともう足が攣れそうである。情けないがこれが実力。難行苦行の1日。稜線まで出ない

ちに時々雪が降る。「何歩か歩いては立ち止まる」の繰り返し。「1歩、2歩、3歩と足を出せばいつかは着くだろう」と自らを叱咤。

シェルパにザックまで預けたのに結局、急斜面が終わった稜線からキャ

ンプまで2時間かかった。私がしんがりだった。疲れた。酒も飲みたくない。標高3800m。ヒマラヤなどの高所も2010（平成22）年4月からの日本山岳協会創立50周年記念パドル・ピーク（5928m）登山時に

アルファ化米
乾燥米飯

nozomi foods Co., Ltd.
あなたの安心を支えるWel-heart
<https://www.nozomi-f.jp>

キャンプ 野営に飯を

WEB

5000メートル少々まで登っただけである。それも12年も昔の話。喜寿を迎えるデブのジジイだということに、「高所順応は飲酒に限る」とうそぶき、山は登らず、トレーニングしないことを自慢話に威張っていた身である。目いっぱいしっぺ返しだった。

ここ数年間で酒を飲まなかったのは2020(令和2)年9月に、1982年秋のダウラギリI峰北壁ペアールート登山時の雪崩で痛めた右ひざ靭帯がいよいよダメになり、人工関節の置換手術を受けた際に『50日間の入院中に、1滴の酒も飲まなかつ

た』時だけ。断酒は私の「γ-GT(アルコール性肝障害で高くなる)」数値を劇的に変えた。入院直前の私のγ-GT数値は「228」。10月28日、退院した日の採血では「49」。男の基準値は70以下だそうです。4カ月後「180」、2023年8月は「235」に戻る。

6日目、南東稜のC4、C5地点が凄いピナクル状に見える。9時に出発。昨日の降雪は歩き易くし、大岩への道のりもそんなに遠そうには見えない。丸い小さなスノーピークを2つ越すと、その1段上の雪原に大岩遠望。私は涙をこらえることは出来な

かった。両手のストックに掴まったまま泣いた。涙はサングラスが隠してくれた。日本の線香、缶ビールと日本酒を注ぐ。標高は4100mだった。「思い残すことは無い」。45年の長年の思いを果たすことが出来た。昨夜と同じテントに泊り下山した。

8日目、11月14日。大型バスでムクティ・ナートへ。ジョムソン郊外のミヤマの3名のケルンにも線香、ビール、日本酒を供え仏教徒、ヒンドゥー教徒の聖地へ上る。慰霊の旅は終わる。



ダウラギリ主峰をバックに



大岩に到着



下山後、ナウリコットのロッジで



ムクチナートでJACグレートヒマラヤトラバース隊の重廣隊長と



ジョムソン郊外のケルン



トレッキングや登山の国内・海外旅行保険はもちろん、自動車保険、火災保険、傷害保険、生命保険などを取り扱っております。メールや電話、Zoom等でもご契約頂けるので、千葉県船橋市の保険代理店ではございますが、ご用命頂けると幸いです。

東京海上日動火災保険(株)、東京海上日動あんしん生命保険(株)代理店

(株) And-Arc

〒273-0012 千葉県船橋市浜町2-1-1 ららぽーと三井ビルディング7F

TEL:047-489-1661/FAX:047-489-1667

群馬の山 14

八間山 (野反峠コース・山頂往復または池の峠へ)

難易度 A 体力度 2

野反峠⇄〈1:30〉八間山⇄〈1:00〉野反峠
野反峠⇄〈1:30〉八間山⇄〈1:00〉池ノ峠⇄
〈0:55〉野反峠

ぐんま百名山に選定されている八間山は、白砂山の南西にあり、その西麓は野反湖となる。野反峠から見下ろす



八間山

野反湖が刻々と色合いを変えていく様子は素晴らしい。初夏から初秋にかけての湖岸は、レンゲツツジ、ノゾリキスゲ(ニツ

コウキスゲ)など300種類以上の高山植物に彩られる。八間山に続く草原は周囲をさえぎる樹木がなく、山頂からの展望も圧巻である。帰路に麓の花敷や尻焼温泉の露天風呂で山歩きの汗を流すのもよい思い出となる。野反峠は富士見峠とも呼ばれている。快晴の日などは遠く富士山を望める。

「群馬の山歩きベストガイド 安心して歩ける126コース」



定価 1400円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編 記集

7月梅雨明け宣言直後に尾瀬アヤマ平を訪れた。木道が破損したり、ガタついていたという要整備箇所が目立った。複線になった木道も左右同じところで大きく朽ち果て、両方にピンクテープが付いている。何とか安定したところを見つけて通り過ぎる。そんなところも何カ所かあった。一方、富士見峠へ下る木道はすべり止めが設置され、濡れた状態ではあったが、安全に通過できた。今、全国的に登山道整備が大きな問題になっている。群馬でも県が腰を上げて、登山道整備を考えるプロジェクトがスタートした。今後の展開から目を離せない。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026